

# 英語科通信

杉並区立杉並和泉学園  
文責 英語科(第8学年担当)  
工藤 信輝 Vol. 1  
発行日 R2. 4. 17.

新・第8学年のみなさん、昨年度に引き続き、みなさんの英語の授業を担当することになりました、工藤です。よろしくお願いします。

第8学年のみなさんには15日間分の課題を作成し、先日他教科の課題と一緒にお渡ししました。調べればできるものから、考えたり、一度習ったことを振り返ったりしなければならぬものまで用意しましたが、特に自由に作文する課題などは、一人で取り組むには難しいと感じる人も少なくないと思いますので、できる範囲で取り組んでみてください。全部完ぺきにできていなくても大丈夫です🌸



## ポイント1 そのまま英語に訳そうとしない



日本語をそのまま英語に直そうとすると、不自然になったり、難しくなってしまうことがよくあります。知っている簡単な表現で言い換えるとどうなるかな？といつも考えるクセをつけましょう。つまり「意識(=語句の一つ一つにこだわらず、全体の意味を考えて訳すこと)」を心がけること！

例えば… 母は、妹を連れて診療所に行っています。 という文を英語に訳すとき、たぶん多くの人が「連れて…?」「診療所…?」「に行っています…?」などと考えてしまい、なにも表現できなくなってしまいますが、「連れて⇨一緒に(with)」「診療所⇨病院(hospital)」「に行っています⇨に行った(went to)」と言い換えができれば、さほど難しくないことが分かります。※診療所は正確には clinic という単語がありますが、まずは通じれば良い！

## ポイント2 動詞の形に気を付ける



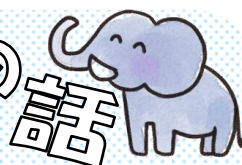
主語が「I」でも「You」でもなく、ひとり or ひとつ」の時には、動詞に s が付いたり、「～しているところ」という意味では、be 動詞と ing 形を使ったり、過去の話なら過去形にしたりする、など、英語は動詞の形を変えなければなりません。さきほどの例文では、「行った」ということなので、過去形をつかって表現しましょう。

他にも「a(an), the」や「誰の～」を表す「my, your」などを名詞の前につけることや、ピリオドを付け忘れないようにすることなど、ポイントはありますが、ひとまず、2つのポイントに気を付けながら、英作文の問題は取り組んでみてください。(次号に続く…)

意識例) My mother went to the hospital with my sister.

COLUMN

## 長～い英単語の



突然ですが、みなさんは、**もっとも長い(文字数の多い)英単語**を知っていますか？単語というのは、**まとまった意味をもつ、1番小さい言葉の単位**です。例えば、student(生徒)や water(水)などの名詞や happy(うれしい)などの形容詞、walk(歩く)などの動詞の他にもたくさん挙げられます。after school(放課後)や United States(合衆国)などは、2つの単語で1つの意味を表しています。

さて、ここで皆さんに問題です。7年生のときに習った英単語(教科書「New Horizon1」に出てくる単語すべて)の中で、1番長い単語は何でしょうか？また、学園卒業までに習う単語の中で1番長い単語はなんだと思いますか？

7年生で習う1番長い単語は... **second**(第2の, 2番目の)で**6文字**です。そして、中学3年間の中で習う1番長い単語は、

8年生で習う **communication**(意思伝達, コミュニケーション)で**13文字**です。

しかし、英語の世界では、これをはるかに上回る長～い単語がたくさんあるのです。有名なものでは、1964年のディズニー映画「**メリー・ポピンズ**」に出てくる **supercalifragilisticexpialidocious**(すばらしい)で**34文字**の英単語。読み方は、**スーパーカリフラジリスティックエクスピアリドーション**です。この映画はミュージカル映画で、この単語は歌になっています。動画サイトなどで一度観てみるとおもしろいかもしれません。1度は聞いたことのあるメロディーだと思います。

そして、現在もっとも長い英単語として記録されているのは、ヒトの必須アミノ酸の1つであるトリプトファンをつくりだす酵素の名前で**1913文字(!)**にもおよぶ単語(右下参照、Wikipediaより)だそうです。もはや、読めません。

こう考えると、ちょっと長くて難しい単語も、覚えるのが少し楽になる…でしょうか...? 休校明け最初の授業で、スプリングコンテストを実施します。じっくり準備をしておいてくださいね！



Methionylglutamylarginyltyrosylglutamylserylleucylphenylalanylalanylglutamylleucyllysylglutamylarginyllysylglutamylglycylalanylphenylalanylvalylprolylphenylalanylvalylthreonylleucylglycylaspartylprolylglcylisoleucylglutamylglutamylserylleucyllysylisoleucylaspartylthreonylleucylisoleucylglutamylalanylglycylalanylaspartylalanylleucylglutamylleucylglycylisoleucylaspartylprolylphenylalanylaspartylprolylleucylalanylaspartylglycylprolylthreonylisoleucylglutamylasparaginalanylthreonylleucylarginylalanylphenylalanylalanylalanylalanylglycylvalylthreonylprolylalanylglutamylcysteinylphenylalanylglutamylmethionylleucylalanylleucylisoleucylarginylglutamyllysylhistidylprolylthreonylisoleucylprolylisoleucylglycylleucylleucylmethionyltyrosylalanylasparaginylleucylvalylphenylalanylalanylasparaginyllsylglycylisoleucylaspartylglutamylphenylalanyltyrosylalanylglutamylcysteinylglutamyllysylvalylglycylvalylaspartylserylvalylleucylvalylalanylaspartylvalylprolylvalylglutamylglutamylserylalanylprolylphenylalanylarginylglutamylalanylleucylarginylhistidylasparaginyllvalylalanylprolylisoleucylphenylalanylisoleucylcysteinylprolylprolylaspartylalanylasparaginyllvalylalanylleucylarginylglutamylisoleucylalanylseryltyrosylglycylarginylglycyltyrosylthreonyltyrosylleucylleucylserylarginylalanylglycylvalylthreonylglcylalanylglutamylasparaginyllarginylalanylleucylprolylleucylasparaginyllhistidylleucylvalylalanyllsyleucyllysylglutamyltyrosylalanylasparaginyllalanylprolylleucylglutamylglycylphenylalanylglycylisoleucylserylalanylprolylaspartylglutamylvalyllysylalanylalanylisoleucylaspartylalanylglycylalanylalanylglycylalanylisoleucylserylglycylserylalanylisoleucylvalyllysylisoleucylisoleucylglutamylglutamylhistidylasparaginyllisoleucylglutamylprolylglutamyllysylmethionylleucylalanylleucyllysylvalylphenylalanylvalylglutamylprolylmethionyllysylalanylalanylthreonylarginylserine